

授業科目名	マネジメント入門	担当教員	荒木 利雄 富樫 佳織
必修の区分	必修		
単位数	2単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1年 第1クォーター		
講義内容	マネジメント入門は、組織がどのような目的で形成され、どのようにして存続してゆくのかを理解することを授業の目的としている。「マネジメントの父」とも称されるドラッカーによると、マネジメントの役割は「組織が果たすべきミッションを達成する」、「組織で働く人たちを生かす」、そして「社会問題の解決に貢献する」ことの3つに要約される。この授業では、ドラッカーの体系に従って授業内容を構成してゆく。		
到達目標	<p>マネジメント入門を履修することにより、以下の能力が身につく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業（営利や非営利を問わず）をマネジメントすることがどのようなことなのかを説明することができる。</li> <li>2. 経営管理者をマネジメントすることを説明することができる。</li> <li>3. 人と仕事をマネジメントするための計画を立てることができる。</li> <li>4. 自分がプロジェクトリーダーになった時に、プロジェクトを成功裏に推進するために必要なマネジメントの大まかな計画を立てることができる。</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション：マネジメントとは何か（「もしドラ」でドラッカーのマネジメントを学習する）</li> <li>2. 事業の目的とは、マーケティングとイノベーションをケースで学習する</li> <li>3. 人と組織のマネジメントに必要な人材育成を理論とケースで学習する</li> <li>4. 人と組織のマネジメントに必要なキャリアを理論とケースで学習する</li> <li>5. リーダーシップとフォロワーシップを理論とケースで学習する</li> <li>6. マネージャーの役割についてケースで学習する</li> <li>7. 目標設定と進捗管理（目標管理）についてケースで学習する</li> <li>8. 人材育成と評価（1on1・フィードバック）についてケースで学習する</li> <li>9. 主要なマネジメント理論を学ぶ（科学的管理法、アンリ・ファヨールの経営管理論、イノベーションを生む心理的安全性など）</li> <li>10. サービス業と製造業のマネジメントの違いについてケースで学習する</li> <li>11. ソーシャル・イノベーション（社会的課題の解決）のマネジメント</li> <li>12. まとめ マネジメントに関わる法律と事例</li> </ol>		
事前・事後学習	事前学習として、予め担当教員が作成したテキスト資料を読み、資料内にあるケースの課題について分析してくる。授業中にケースについての		

	<p>ディスカッションをするので、自分の発言のための分析結果のメモを作成すること。</p> <p>事後学習として、授業後には、フィードバックシート（振り返りレポート、授業での学びや分析結果など）を提出すること。</p>
テキスト	なし
参考文献	<p>岩崎夏海『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』新潮文庫，2015年（初版，2009年）。</p> <p>P.F. ドラッカー（上田惇生訳）『【エッセンシャル版】マネジメント：基本と原則』ダイヤモンド社，2011年（初版，2001年）。</p> <p>その他、授業中に適宜紹介する。</p>
成績評価の基準	<p>授業への参画度（グループワーク及びグループディスカッション）（20%）、フィードバックシート（振り返りレポート）（30%）、期末レポート（50%）により評価します。</p>
履修上の注意 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークやグループディスカッションを行いますので、主体的かつ積極的に参画してください。</li> <li>・フィードバックシート（振り返りレポート）は、授業内容、グループディスカッション、グループワークなどで学んだ内容やケースの分析結果等について振り返ってください。</li> </ul>
実践的教育	該当しない。
備考欄	